

信濃川水系学識者会議 第4回上流部会 議事要旨

開催日時：平成25年4月30日（火）13:30～15:30

場 所：長野市生涯学習センター（TOiGO WEST）3階 第1・2学習室

議事次第：1.開会

2.挨拶

3.議事

- ① 学識者会議規約の改正予定について
- ② 骨子に対する意見と原案への反映について
- ③ 信濃川水系河川整備原案について
- ④ 今後の進め方について

4.閉会

○議事要旨

① 学識者会議規約改正予定について

② 骨子に対する意見と原案への反映について

（A委員）

- 大町ダム、東電5ダムの連携により平成18年洪水で水位低下効果があったことから、今後同様の取り組みを行っていただきたい。

（B委員）

- 住民懇談会の参加者数と住民からの意見総数はどの位か。

（事務局）

- 住民懇談会の参加者数は、上田会場11名、松本会場10名、飯山会場26名、長野会場33名の合計80名である。住民からは280の意見をいただいた。

（C委員）

- 若年層からの意見が少なく、若い世代の意見も反映できるような工夫が必要である。

（事務局）

住民懇談会は、若い層も参加しやすいように平日の夕方から開催したが、参加状況はかんばしくない。良い知恵がありましたら御教授願います。

（C委員）

- 地域と連携した河川管理については、住民を参加させることのみを目的とするのではなく、河川改修の必要性等についても認識を深めてもらうような仕組みづくりといった観点で記載ができないか。

（事務局）

- 検討します。

③信濃川水系河川整備原案について

(A委員)

- 上流区間では河床低下があり、護岸や橋梁の根入れ不足が生ずることから河床低下対策をお願いしたい。また、置土は大きめの粒径で実施していただきたい。
- 霞堤の機能維持・保全と合わせて、安全対策を実施していただきたい。

(事務局)

- 護岸の根入れ対策は危険な状態を放置することなく進めてまいりたい。また、置土は関係機関と調整を図り進めてまいりたい。
- 霞堤は現状の維持保全を基本とし、より良い方策となるよう進めてまいりたい。

(D委員)

- 犀川上流の既設利水ダムの洪水調節を特例操作ではなく、計画に位置付けていただきたい。千曲川では平成27年度末を目標に $6,500\text{m}^3/\text{s}$ へ流下能力を向上させる整備を進めているが、犀川指定区間の久米路第二河川トンネルの整備は平成25年度末に完了することとなり、この間の2年間は上下流バランスに齟齬が生じることから、これを解消するためにも既設ダムの有効活用を前倒して実施していただきたい。

(事務局)

- 既設ダムの有効活用に関しては、調査検討の上、必要な対策を実施することにしており、具体的な方策が提示できる段階で整備計画に反映していきたい。

(C委員)

- 犀川上流の河床洗掘防止のため、帯工による滞筋の固定化は出来ないか。

(事務局)

- 横断工作物による効果も期待できますが、流れが堤防に向いて破堤してしまうことも懸念されるため、河川に設置する施設としてあまり取り入れていないのが現状です。

(C委員)

- 人と河川との豊かなふれあいの場を確保することによって、いままで営々と行ってきた河川事業により、人と自然が共生してきたということを理解いただくような観点で整理をしていただきたい。

(事務局)

- 検討します。

(C委員)

- 土砂動態を定期的に把握することは非常に重要であるが、土砂動態をできる限り沈静化させるような方策を検討してはどうか。
- 狭窄部の掘削は、土砂動態の観点から河床洗掘を引き起こしてしまわないよう、バランスのとれた方法を検討していただきたい。
- 上下流のアンバランスは絶対につくってはいけないと思うので、30年工事を行うことにより、できるだけ緩和を推進するという施策を実施していただきたい。

(事務局)

- 狭窄部等の掘削による河床変動等に留意し、各種検討を実施してまいりたい。

④今後の進め方について

⑤その他

(B 委員)

- 今回の住民説明会については、住民向けにわかりやすいよう概要パンフレットを工夫していただきたい。意見集約が形骸化しないように留意して欲しい。

(事務局)

- 同様のご意見は他の部会でも頂いており、用語の説明集を追加する。また、ポイント説明資料をホームページで発信するようにしたい。

(E 委員)

- 大規模地震の対応は可能なのか。

(事務局)

- 中越や中越沖地震、東日本大震災等の経験と対応から、そのノウハウを踏まえ記載している。

(F 委員)

- 善光寺地震は記載しているか。

(事務局)

- 記載していない。

(部会長)

- 大震災を踏まえて各機関で防災計画の見直しが行われており、長野市防災計画の見直しでは、善光寺地震規模は長期的に発生しないという前提で、その対応は記載していない。非常にまれなものの対応を考えると、その他の対応が出来なくなるため、やむを得ないのではないか。

(G 委員)

- 親水公園付近の川の流れを緩やかにするような手立てをしていただきたい。
- 下流域に対し上流域に住む者はもう少し環境に配慮しなければいけないことや、大河津分水の改修状況などは長野県の方の者は知らないと思うので、メディアを通じた情報発信等をしていただきたい。

—以 上—